

科目名	ビジネスマナー				
担当教員	小林 美江		実務授業の有無	×	
対象学科	ペット栄養・メディカルトリマー学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	<p>組織、お客様、取引先などと良好な人間関係を保ちつつ、仕事の成果をあげるためにビジネスマナーを身につける。</p> <p>また、9月に受験をする社会人常識マナー検定に向けて、過去問題は宿題で行い、合格点に達しない学生は補講を行い、合格できる準備を整える。</p> <p>対面授業で実施。</p>				
学習目標 (到達目標)	社会人常識マナー検定に合格できる、ビジネスマナーを身につける				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	株式会社ウイネット 実践ビジネスマナー 公益社団法人全国経理教育協会 社会人常識マナー検定試験				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	仕事に取り組む心構え		P8-12 教務室入退室・書類の提出の仕方チェック		
2	報告・連絡・相談、会社の組織		P13-16 指示を受けて業務を遂行し報告するロールプレイング		
3	基本動作、言葉の遣い方		P18-30 お辞儀・椅子の座り方チェック		
4	受付の仕方、名刺の渡し方		P32-40 受付ロールプレイング		
5	取り次ぎの仕方、案内の仕方		P41-48 受付→応接室案内ロールプレイング		
6	応接室の案内の仕方、お茶の出し方、環境整備		P49-56 お茶出しロールプレイング		
7	電話の受け方、伝言メモ		P55-69		
8	電話のかけ方		P70-76 インターンシップ確認電話ロールプレイング		
9	慶事業務		プリント		
10	弔辞業務、お見舞い		プリント		
11	社内で使用する備品、郵便の取り扱い		プリント		
12	ビジネス文書とは、社内文書作成の仕方、メールの送り方		プリント iPad (スマホ) でメール作成送信添削		
13	社外文書作成の仕方		プリント PC (iPad) で社外文書作成提出添削		
14	お礼状の作成の仕方		プリント 直筆でお礼状作成提出添削		
15	期末試験				
16	期末試験、解答・解説				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			積極的にロールプレイングに取り組み、提出物の期限は守ること。 インターンシップ前後に行う電話がけやお礼状作成など、マニュアル通り行えないことを理解し、臨機応変に対応できるように毎日の学校生活でもビジネスマナーを意識すること。		
実務経験教員の経歴					

科目名					
コンピュータ実習					
担当教員	安達 秀子		実務授業の有無	○	
対象学科	ペット栄養・メディカルトリマー学科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	日本語文章入力がある程度の速さで、正確に行えるようにする Wordの理解を深め、活用できる基本技術を身につける 対面授業で実施				
学習目標 (到達目標)	Word文書処理技能認定試験 3級 取得 Excel表計算処理技能認定試験 3級 取得				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	Word2016 クイックマスター 基本編、Word文書処理技能認定試験 3級問題集 Excel2016クイックマスター基本編、Excel表計算処理技能認定試験 3級問題集				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	新規フォルダー作成・ファイルコピー Chapter1 Wordの基本		授業の目的の理解 Windows基本操作、基本知識の重要性		
2	Chapter2 文字の入力と編集の基本操作 Chapter3 文書の編集		日本語入力の基本操作の確認 正確な入力の重要性、コピー・移動の状況に応じた方法		
3	Chapter3 文書の編集		Wordにおける段落書式の重要性		
4	Chapter3 文書の編集 Chapter4 文書の印刷		C2～3で学習した内容を該当設問で確認		
5	Chapter5 文書の作成		タブ機能の重要性の理解、タブ設定とタブ挿入の理解 ルーラーの重要性の確認		
6	Chapter6 表を使った文書の作成		表作成・編集の基本の理解、操作に応じたりボンの確認 C4～6で学習した内容を該当設問で確認		
7	Chapter7 図形や画像を使った文書の作成		オブジェクト作成・編集操作の基本の理解		
8	練習問題 1		QMで学習した機能を確認しながら設問解答 実用目的の成果物として完成させる		
9	練習問題 2～		「作成」ファイルと「編集」ファイルの保存の必要性、名前を付けて保存と上書き保存の理解の重要性		
10	練習問題		完成確認後、各自で次の練習問題に進む 練習問題2「編集」の確認と疑問点などの確認・回答		
11	練習問題		〃		
12	模擬問題		〃		
13	模擬問題		〃		
14	試験実施プログラム 模擬問題		プログラム操作方法・試験の流れの確認 画面配置に慣れる。解答ファイル採点		
15	試験実施プログラム サンプル問題		前問題振り返り 時間計測して実施 解答ファイル採点		
16	検定				
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			パソコンスキルはどの業界へ就職しても必須となります。パソコンの基本的な操作の仕方、文書作成の方法をしっかりマスターしましょう。授業中に分からない事や上手く出来なかった事は休み時間を利用して練習をしましょう。		
実務経験教員の経歴	一般向けパソコン教室において20年以上関わっていた				

科目名	コミュニケーション実践Ⅰ				
担当教員	梅本 実生		実務授業の有無	×	
対象学科	ペット栄養・メディカルトリマー学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	<p>対面交流場面における「話す」行為において、相手の状況を正しく理解した上で、自分の意志を目的や場面に応じた適切な表現でわかりやすく示し、効果的に相手に伝えることを学ぶ。</p> <p>コミュニケーション検定初級合格を目指すために、対策授業を行い、合格点に達しない者は補講を行う。対面授業で実施。</p>				
学習目標 (到達目標)	<p>周囲の人と「話す」こと、「聞く」ことによって円滑なコミュニケーションをとることができる。</p> <p>コミュニケーション検定初級合格ができる。</p>				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	株式会社サーティファイ コミュニケーション検定公式ガイドブック&問題集				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	コミュニケーションを考える、目的に即して聴く		P2-9		
2	傾聴・質問する		P10 -14		
3	目的を意識する、話を組み立てる		P15-22		
4	言葉を選び抜く		P23-29		
5	表現・伝達する		P30		
6	来客応対		P36-39		
7	電話応対		P40-43		
8	アポイントメント・訪問・挨拶		P44-48		
9	情報共有の重要性、チームコミュニケーション		P49-59		
10	接客・営業、クレーム対応		P60-71		
11	会議・取材・ヒアリング、面接		P72-82		
12	模擬問題		P84-99		
13	過去問題①		P100-115		
14	過去問題②		P116-131		
15	過去問題③		P132-148		
16	コミュニケーション検定				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
<p>成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。</p>			<p>コミュニケーション検定合格のために、毎回授業に出席する。</p>		
実務経験教員の経歴					

科目名	就職実務Ⅰ				
担当教員	梅本 実生		実務授業の有無	×	
対象学科	ペット栄養・メディカルトリマー学科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	<p>毎日の生活を豊かに有意義に過ごすためにも、自分らしい生きがいややりがいを持って働くためにも、働く意義をしっかりと理解した上で就職活動を進めていく。</p> <p>身だしなみセミナー、求職登録面接、就職研修、インターンシップを通して、翌年（翌々年）の就職活動を意識する。</p> <p>対面授業で実施。</p>				
学習目標 (到達目標)	<p>就職活動の心構えと流れを知ることができる。</p> <p>自分と職業を理解することができる。</p>				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	これからどう生きていくか、一生でどのくらい稼げるのか、どんな生活を送りたいか、社会はどんな人材を求めているのか		プリント		
2	チャンスを逃がさない、働く理由を考える		プリント		
3	伝わる文章の書き方、相手を納得させる論理力、構成を考える		プリント		
4	自己PRのネタを探す、自己PRの骨格をつくる、説得力のある自己PRをつくる		プリント		
5	BtoBとBtoCの違いを知る、業界について考える、職種について考える		プリント		
6	求職登録面接とは何か、求職票作成の仕方、インターンシップとは何か、インターンシップ申込書作成の仕方		プリント		
7	求職票作成、自己PR作成、面接練習①		個別作業		
8	求職票作成、自己PR作成、面接練習②		個別作業		
9	求職票作成、自己PR作成、面接練習③		個別作業		
10	身だしなみセミナー、求職登録面接		女子メイクセミナー、男子身だしなみセミナーを受講 求職登録面接を受ける		
11	インターンシップ履歴書作成の仕方		プリント		
12	企業研究の仕方、志望動機の書き方		プリント		
13	履歴書作成、志望動機作成①		個別作業		
14	履歴書作成、志望動機作成②		個別作業		
15	インターンシップ日誌の作成の仕方、身だしなみについて		プリント		
16	就職研修		インターンシップに向けての心構えと問題事例、また今後の就職活動に向けての心構えを学ぶ		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			書類作成や面接練習をすることもあるので、毎回授業に出席し、提出物などの遅れがないようにする。面接練習は必ず事前に準備をしておくこと。		
実務経験教員の経歴					

しつけトレーニング実習						
科目名	しつけトレーニング実習					
担当教員	金子 真弓		実務授業の有無	○		
対象学科	ペット飼養・ケアカトリナー学科		対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	64	
授業概要、目的、授業の進め方	1.犬のトレーニング実技を行う。 2.実際の道具やデモンストレーションを見る。 3.テキストやホワイトボードを使用し内容を説明。 対面授業で実施。					
学習目標 (到達目標)	正の強化と負の強化を使ったトレーニング方法を理解し、実行できるようになる 犬と関わる上での必要な事や必要な物を理解する					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	犬の問題はこうして直す「THE Tool Box」					
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考				
1	犬の観察・しつけとは？、問題行動とは？ 飼い主にとって好ましくない行動⇒好ましい行動として肯定文として説明					
2	リーダー、アルファとは？上下関係、主従関係×、パピーの結願について、所有欲について ・おもちゃで遊ぶことについて リードの持ち方、近くでフード、近くを歩く、回す	テキスト使用				
3	飼い主の手の良いものに学習させる ・“ヒーナツツバター療法”でケア時に条件付け、マズルコントロール、アルファロール× ・トレーニング⇒回す、オスワリ、フセ (誘導で)	テキスト使用				
4	ケージ/クレートに慣して (程度ケージが必要か？) ・オスワリ、フセ、夕方をそれぞれの姿勢から誘導 オスワリマテ、オスワリフセ、フセマテ	実際の道具を見る、トレーニングの方法をデモンストレーション				
5	犬を家族として迎え入れる前に準備するモノは？ ・名前を教える、アイコンタクト、近くを歩く	実際の道具の一部を見る				
6	犬を家族として迎える前に準備しておきたいコトについて どんな犬？成犬or子犬orオスorメス、犬種など ・実習：コングを作る (中に食べ物を詰める)、回す、横につける、アテンションなど					
7	ストレスについて 3つのF、カーミングシグナルについて ・実習：立ち方について (バランス良く立つ、犬胸の前立ち犬胸を高く)	テキスト使用				
8	犬の行動問題について：原因は？犬種特性、身体の不快、先天的な要因、社会化不足などについて ・実習：Tタッチ、立ち位置 (犬の肩の辺りに立ち、犬胸を少し向く)、リードの持ち方					
9	学習理論：報酬はランダムにしてい、誘導から合図をつける⇒ハンドシグナル ・回す、オスワリフセをハンドシグナル、マッチ					
10	トイレットレニングについて ・ハンドシグナルでオスワリ、フセ、回す、マッチ、Tタッチ	DVD鑑賞				
11	合図を教えるトレーニングについて					
12	嫌悪刺激を使ったトレーニング⇒ほめる (モチベーションを使った方法) ・自発的アイコンタクト、左右にご褒美を持った手を移動させてトレーニング					
13	セルダグン：飼い主の足元で大人しく落ち着く (フセの状態)で、マグネットトレーニング：誘導とは異なり、全てのトレーニングの幹	足元でフセのトレーニングのデモンストレーション				
14	ボディランゲージ、カーミングシグナルについて ・呼び戻し、近くを歩く (人がボール役になり、8の字で歩く)	DVD鑑賞				
15	古典的条件付け (拒否条件付け、逆条件付け)、正の罰について罰とは？：嫌悪刺激 ・古典的条件付けでブラシ、手、ハンドタオルで触る刺激に慣らす					
16	散歩の引っ張りについて (ジェントルリーダー、ハルティ、イージーワークハーネスについて)	実際の道具を見せてデモンストレーション				
17	シェパードについて (人だけでクリックの練習)	トランプを使用して、人同士で練習				
18	動画鑑賞：パピークラス、フリススタイルなど ・実習：クリックカートレニング、犬がイスの上に前足を乗せる、イスの下に頭を入れる	モニターより動画鑑賞 (実際の教室の様子など)				
19	Tool Box：健康、環境を豊かにする、リーダーシップ、管理、要換、原因を取り除く、系統的脱感作、ご褒美を取り除く ・ハンドシグナルのトレーニング (オスワリ、フセ、回す)	テキスト使用				
20	Tool Box：両立しない行動にご褒美を与える、慣らす、関連付けの改善、嫌悪刺激、Tool Boxを使って、問題を解決を考える (8組に分かれて)、実習：呼び戻し	テキスト使用				
21	シェパード (クリックカートレニング) ・人同士でクリックカートレニング：クリック配布					
22	シェパード② (クリックカートレニング、基準が大きい場合は細かく分ける) ・人同士でクリックカートレニング、犬でのシェパードデモ：イスの下に頭を入れる					
23	シェパード③ (クリックカートレニング) ・人同士でクリックカートレニング、犬にクリックでトレーニング					
24	シェパード④ (クリックカートレニング) ・人同士でクリックカートレニング、犬にクリックでトレーニング (オスワリ、フセでクリックする)					
25	シェパード⑤ (クリックカートレニング) ・人同士でクリックカートレニング、犬のクリックでトレーニング (イスの下に頭を入れる)					
26	シェパード⑥ (クリックカートレニング) ・人同士でクリックカートレニング、犬のクリックでトレーニング (イスの下に頭を入れる続き)					
27	犬の本能：食物獲得、危険回避、繁殖⇒トレーニングで食物獲得を利用、食べ方が強い (痛い) 犬のトレーニング、おもちゃ遊びデモ ・行動に合図を付ける					
28	犬の本能：食物獲得、危険回避、繁殖⇒トレーニングで食物獲得を利用、食べ方が強い (痛い) 犬のトレーニング、おもちゃ遊びデモ					
29	古典的条件、拒否条件、脱感作について					
30	オペラント条件付けについて					
31	呼び戻しについて					
32	トリックをランダムにしてルアーを無くすトレーニングについて					
評価方法・成績評価基準		履修上の注意				
レポート提出100% 成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。						
実務経験教員の経歴	しつけインストラクターとして25年以上活動、「PUPS FRIENDS」主宰					

科目名	人と動物の関係学				
担当教員	山崎 恵子		実務授業の有無	○	
対象学科	ペット栄養・メディカルトリマー学科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	48
授業概要、目的、 授業の進め方	現在、国際的に動物愛護がどのように進んでいるのか？日本の現状は？今後取り組んでいく課題は何なのか？を学ぶ。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	日本や世界の動物業界の現状や動物福祉のあり方について理解することができる。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	動物の代弁者になることについて				
2	真の動物愛護とは				
3	ブリーディングの問題				
4	飼い主の責任				
5	動物の死とベトロス				
6	シェルターワーク				
7	動物虐待				
8	災害時の動物				
9	犬のデイケア				
10	犬猫の行動学				
11	Tタッチ理論				
12	Tタッチ実践		特別講義		
13	動物愛護教育				
14	動物保護活動				
15	期末試験				
16	エコ・ツーリズム				
17	動物愛護法				
18	アニマル・エシックス（実験動物・産業動物）				
19	アニマル・エシックス（展示動物）				
20	アニマル・エシックス（補助犬）				
21	安楽死とベトロス		特別講義		
22	動物愛護法と動物の福祉		特別講義		
23	期末試験				
24	動物との共生				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			全ての授業に出席し、かつ毎回のテーマごとにレポートを提出すること。		
実務経験教員の経歴	一般社団法人アニマル・リテラシー総研理事				

科目名	飼養管理士総論				
担当教員	曾我 李桜		実務授業の有無	○	
対象学科	ペット栄養・メディカルトリマー学科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必須	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	動物が「命」あるものとし、「人と動物の共生」が必要となっている。そのための動物種の生態、管理や飼育方法について知識を身に付ける。また、動物に関連する法理についても学ぶ。 愛玩動物飼養管理2級の合格に向け、授業を行っていく。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	動物に関わる法律を理解し、動物種の生態・飼育方法をアドバイスできるようになる。 愛玩動物飼養管理士2級の取得。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	愛玩動物飼養管理士2級教本				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	鳥類について 形態的特徴、飼養管理（インコ、オウム）		単元が終了した時点で必ず確認テストを実施		
2	鳥類について 飼養管理（フィンチ、ニワトリ、アヒル、ハト）				
3	鳥類について 繁殖、確認テスト				
4	からだの仕組み からだの成り立ち、栄養・酵素を取り入れる				
5	からだの仕組み 老廃物の排出、情報を取り入れる、情報伝達				
6	からだの仕組み 確認テスト				
7	愛玩動物飼養管理士の社会活動				
8	愛玩動物飼養管理士とは				
9	愛玩動物飼養管理士について 確認テスト				
10	動物愛護論Ⅰ 海外と日本について				
11	動物愛護論Ⅰ 動物愛護運動について				
12	動物愛護論Ⅰ 確認テスト				
13	人と動物の関係学①				
14	人と動物の関係学②				
15	人と動物の関係学 確認テスト				
16	期末テスト				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。					
実務経験教員の経歴	ペットショップで販売スタッフとして6年勤務				

科目名	エキゾチックアニマル				
担当教員	曾我 李桜		実務授業の有無	○	
対象学科	ペット栄養・メディカルトリマー学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	現在飼育されている動物は、犬猫だけではないため、生体の特徴、飼育方法を理解する。 販売に携わる際には、飼育方法をアドバイスできるようになる。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	愛玩動物飼養管理士2級合格。飼い主に飼育アドバイスが出来るようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	愛玩テキスト2巻				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ウサギ 飼養管理		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
2	ハムスター 飼養管理		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
3	モルモット 飼養管理		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
4	フェレット 飼養管理		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
5	チンチラ 飼養管理		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
6	犬猫分類、歴史		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
7	犬、猫の特徴		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
8	犬猫と暮らす、環境		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
9	犬猫のライフサイクル①		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
10	犬猫のライフサイクル②		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
11	犬猫の社会化		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
12	しつけについて		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
13	犬猫の毎日の生活 食事		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
14	犬猫の発情、健康管理		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
15	テスト+(解説)				
16	解説				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。					
実務経験教員の経歴	ペットショップで販売スタッフとして6年勤務				

科目名	動物関係法規				
担当教員	菅井 光代		実務授業の有無	○	
対象学科	ペット栄養・メディカルトリマー学科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	動物取扱現場及び、公衆衛生、環境関連の動物関連の法規について理解を深め、動物福祉と安全な社会づくりに貢献する専門職として順守の精神を養う。 愛玩動物飼養管理士2級合格へ向けて、検定出題範囲の関連法について理解を深める。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	愛玩動物飼養管理士2級合格 動物に関連する法規範と倫理を理解することで、動物取扱業者における業務を円滑に行えるようにする。 法規範に基づく疾病予防等の飼い主義務について飼い主への助言が出来るようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	パワーポイント、レジュメ 愛玩動物飼養管理士2級第1巻				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	法規範とは何か、法規の概念を理解する		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
2	日本における法令の種類（法律、政令、省令・府令、条約、条例）		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
3	動物愛護法①		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
4	動物愛護法②		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
5	動物愛護法③		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
6	愛護法振り返りテスト		動物愛護法について中間のミニテストの実施		
7	動物愛護法④		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
8	動物愛護法⑤		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
9	動物愛護法⑥		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
10	愛護法振り返りテスト②		動物愛護法について振り返りテストの実施		
11	狂犬病予防法①		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
12	狂犬病予防法②		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
13	身体障害者補助犬法		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
14	ペットフード安全法		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
15	鳥獣保護法、ワシントン条約、ラムサール条約		パワーポイントの投影、レジュメの書き込み		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			本科目は愛玩動物飼養管理士2級合格に必要な法規範の知識を習得する。授業で配布する資料についても熟読が必要。		
実務経験教員の経歴	動物病院で動物看護助手として1年勤務				

科目名	動物飼育実習				
担当教員	佐山 恭子		実務授業の有無	○	
対象学科	ペット栄養・メデイカトリマー学科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	<p>実習前座学：実習前に必要な知識を伝え、なぜ行うのか理由から方法を覚えられるようにする 実習：座学で得た知識を実践する。到達目標を細かく刻み、自信を持ってもらう。 掃除においてはインターンシップと基本となる項目。 動物を触るだけが、仕事ではないため、率先して動ける人材へ。 対面授業で実施。</p>				
学習目標 (到達目標)	個別別の生活様式から正常と異常を見極め、適正な動物飼育を身につける				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	動物看護実習テキスト				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	アレルギー調査、実習スタイルについて、飼育室の出入り方法		教員が見本となる、実習室への見学		
2	消毒や手洗いの実施について、犬について (PD、テキスト)		理由を明確に伝え納得させる、犬の触れ合い		
3	猫について (PD、テキスト)、管理帳の記入の仕方について		管理帳見本を配布し記入させる、猫の触れ合い		
4	小動物 (ウサギ、モルモット、ハムスター) について		自作プリントを配布、小動物の触れ合い		
5	飼育室の見学 (物の配置確認)、掃除の仕方、洗濯方法		先輩に指導を受ける、メモをとる		
6	病気の予防や診察について、日誌の書き方		日誌を実際に書いてもらう		
7	実習前の総確認、小テスト		実習に必要な技術を見直す		
8	フィードバック		覚え直し		
9	(実習) 犬の管理、お世話、食事について		WaNファミリー (犬) への接触方法、管理方法を学ぶ		
10	(実習) 猫の管理、お世話、食事について		WaNファミリー (猫) への接触方法、管理方法を学ぶ		
11	(実習) ウサギの管理、お世話、食事について		WaNファミリー (ウサギ) への接触方法、管理方法を学ぶ		
12	(実習) モルモットの管理、お世話、食事について		WaNファミリー (モルモット) への接触方法、管理方法を学ぶ		
13	(実習) ハムスターの管理、お世話、食事について		WaNファミリー (ハムスター) への接触方法、管理方法を学ぶ		
14	(実習) 犬の管理、お世話、食事について		WaNファミリー (犬) への接触方法、管理方法を学ぶ		
15	期末試験 (筆記)		正しい知識を覚えているか		
16	フィードバック		間違えたままにせず、確認を行う		
17	(実習) 犬の管理、お世話、食事について		WaNファミリー (犬) への接触方法、管理方法を学ぶ		
18	(実習) 猫の管理、お世話、食事について		WaNファミリー (猫) への接触方法、管理方法を学ぶ		
19	(実習) ウサギの管理、お世話、食事について		WaNファミリー (ウサギ) への接触方法、管理方法を学ぶ		
20	(実習) モルモットの管理、お世話、食事について		WaNファミリー (モルモット) への接触方法、管理方法を学ぶ		
21	(実習) ハムスターの管理、お世話、食事について		WaNファミリー (ハムスター) への接触方法、管理方法を学ぶ		
22	(実習) 犬の管理、お世話、食事について		WaNファミリー (犬) への接触方法、管理方法を学ぶ		
23	(実習) 猫の管理、お世話、食事について		WaNファミリー (猫) への接触方法、管理方法を学ぶ		
24	(実習) ウサギの管理、お世話、食事について		WaNファミリー (ウサギ) への接触方法、管理方法を学ぶ		
25	(実習) モルモットの管理、お世話、食事について		WaNファミリー (モルモット) への接触方法、管理方法を学ぶ		
26	(実習) ハムスターの管理、お世話、食事について		WaNファミリー (ハムスター) への接触方法、管理方法を学ぶ		
27	(実習) 犬の管理、お世話、食事について		WaNファミリー (犬) への接触方法、管理方法を学ぶ		
28	(実習) 猫の管理、お世話、食事について		WaNファミリー (猫) への接触方法、管理方法を学ぶ		
29	(実習) ウサギの管理、お世話、食事について		WaNファミリー (ウサギ) への接触方法、管理方法を学ぶ		
30	(実習) モルモットの管理、お世話、食事について		WaNファミリー (モルモット) への接触方法、管理方法を学ぶ		
31	期末試験 (筆記)		正しい知識を覚えているか		
32	フィードバック		間違えたままにせず、確認を行う		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			飼育経験のない動物もいることから、接触方法や飼育管理方法の違いについて習得し、実践する。苦手意識が出ないよう、わからないことをそのままにせず先輩や先生に質問し、自信をつけていく。		
実務経験教員の経歴	動物病院で動物看護師として9年勤務				

2024年度

国際ペットワールド専門学校 シラバス

科目名	解剖・生理学				
担当教員	東海林 愛美		実務授業の有無	○	
対象学科	ペット栄養・メディカルトリマー学科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	動物の体の基本構造やはたらきをまず理解した上で、各組織での検査や代表的な疾患を把握する 対面授業で実施				
学習目標 (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> ●動物の体のしくみやはたらきを理解することができる ●各組織における検査の種類や手技、代表的な疾患を把握し、ケアすることができる 				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	緑書房 ビジュアルで学ぶ 動物看護学[第2版]、緑書房 ビジュアルで学ぶ 伴侶動物解剖生理学				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	授業概要、体の基本構造について	伴侶動物解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み			
2	外皮系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア	動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み			
3	運動器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア	動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み			
4	神経系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア	動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み			
5	感覚器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア	動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み			
6	感覚器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア	動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み			
7	循環器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア	動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み			
8	循環器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア	動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み			
9	呼吸器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア	動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み			
10	上部消化器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア	動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み			
11	下部消化器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア	動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み			
12	泌尿器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア	動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み			
13	内分泌系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア	動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み			
14	生殖器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア	動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み			
15	期末試験				
16	期末試験の振り返り				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。		動物病院での実習や勤務を想定し、動物の体の基本構造から検査や疾病、看護師としての仕事も併せて履修する。 解剖生理学は難しい分野とらわれがちなので、現場での経験などを踏まえながら、より身近に感じられるように意識する。			
実務経験教員の経歴	動物病院で動物看護師として13年勤務				

科目名	動物栄養学Ⅰ				
担当教員	川口 和清		実務授業の有無	○	
対象学科	ペット栄養・メディカルトリマー学科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	<p>動物の健康維持に必要な栄養素を学び、その基礎知識を活用して各論の学習に進む準備のため、まずはイヌとネコの六大栄養素についての知識を、動物の生理学に立脚した栄養学を総論として学び、様々なペットフードやパンフレットに記載されている専門用語を理解し、飼い主に適切な栄養相談および指導を行う際の基礎知識を習得する。</p> <p>対面授業で実施。</p>				
学習目標 (到達目標)	<p>栄養学総論に基づいて、注意すべき食材を知り、必要エネルギー量の指導ができ、イヌとネコに必要な栄養素の違いが説明でき、ライフステージ別の栄養指導ができることを目的として学習する。</p>				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	(株) インターズー発行 ビジュアルで学ぶ動物看護学				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	動物栄養学総論		テキスト、資料を使用		
2	基礎栄養学		小テストの実施、テキスト、資料を使用		
3	基礎栄養素 水、タンパク質①		小テストの実施、テキスト、資料を使用		
4	基礎栄養素 タンパク質②		小テストの実施、テキスト、資料を使用		
5	基礎栄養素 炭水化物、脂肪		小テストの実施、テキスト、資料を使用		
6	基礎栄養素 ミネラル、ビタミン		小テストの実施、テキスト、資料を使用		
7	イヌとネコの栄養要求の違い①		小テストの実施、テキスト、資料を使用		
8	イヌとネコの栄養要求の違い② ライフステージ別の栄養管理①		小テストの実施、テキスト、資料を使用		
9	ライフステージ別の栄養管理②		小テストの実施、テキスト、資料を使用		
10	ライフステージ別の栄養管理③		小テストの実施、テキスト、資料を使用		
11	ライフステージ別の栄養管理④		小テストの実施、テキスト、資料を使用		
12	ライフステージ別の栄養管理⑤ ペットフードの表示の見方①		小テストの実施、テキスト、資料を使用		
13	ペットフードの表示の見方② BCS評価とカロリー計算の仕方①		小テストの実施、テキスト、資料を使用		
14	BCS評価とカロリー計算の仕方②		小テストの実施、テキスト、資料を使用		
15	ペットフードの種類		小テストの実施、テキスト、資料を使用		
16	期末試験				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
<p>成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。</p>			<p>解剖生理の復習、小テストを実施し、理解度を確認する。</p>		
実務経験教員の経歴	ペットフードメーカーにおいてフード開発に携わる				

科目名	動物看護概論				
	東海林 愛美		実務授業の有無	○	
対象学科	ペット栄養・メディカルトリマー学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	動物病院での診療補助の概要を学び、生態を取り扱う業種において日常の健康チェックとケアの知識を習得する。				
学習目標 (到達目標)	動物の健康チェック項目、ケアの基本的な道具と方法について習得する。 動物病院での基礎的な知識を身に付け、病院に限らず、ショップ等の店舗はもちろん飼い主対応にも役立てられる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	エデュワードプレス発刊 動物看護実習テキスト				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	動物病院業務について 動物を看護すること		パワーポイント資料		
2	動物の保定		パワーポイント資料、ぬいぐるみ		
3	身体検査とバイタルチェック		ぬいぐるみ、聴診器、体温計		
4	消毒、滅菌		消毒液、雑巾		
5	シリンジの扱い方/投薬方法		シリンジ		
6	投薬/点眼/点耳/エリザベスカラーの装着		ぬいぐるみ、投与薬		
7	検体処理(尿、便、血液)		検体		
8	尿検査		尿検査キット		
9	糞便検査(寄生虫卵検査)		寄生虫卵一覧表、寄生虫標本		
10	血液検査(塗抹作成と白血球分類)		塗抹見本		
11	レントゲン検査(ポジショニングと防護)		ぬいぐるみ		
12	手術準備(手術器具名称)		手術器具		
13	マイクロチップ		マイクロチップ見本		
14	受付業務(証明書発行)		ワクチン証明書、カルテ		
15	まとめ				
16	期末試験				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			動物病院への就職も視野へ入れて幅広く知識を身につける		
実務経験教員の経歴	動物病院で動物看護師として13年勤務				

科目名						グルーミング実習Ⅰ					
担当教員		磯部 孝則		実務授業の有無		○					
対象学科		ペット栄養・メディカルトリマー学科		対象学年		1		開講時期		通年	
必修・選択		必須		単位数		12		時間数		384	
授業概要、目的、授業の進め方		グルーミング技術の習得。犬種ごとに安全なグルーミングが出来るようにする。グルーミングにより犬の生理や健康管理、衛生管理を行う。 1人1頭の犬をグルーミングを行う。 対面授業で実施。									
学習目標 (到達目標)		120分の中で、シャンプー、ペイジング、ドライイング、爪切り、耳掃除、足裏の毛のカット、足回りが1人で出来るようになる。									
テキスト・教材・参考図書・その他資料											
回数	授業項目、内容					学習方法・準備学習・備考					
1	グルーミング実習(実践) チワワ					犬種ごとのグルーミング技術を学ぶ					
2	グルーミング実習(実践) ダックス										
3	グルーミング実習(実践) ポメラニアン					ダブルコートのブラッシングを身に付ける。					
4	グルーミング実習(実践) パピヨン										
5	グルーミング実習(実践) ヨークシャーテリア										
6	グルーミング実習(実践) シュナウザー										
7	グルーミング実習(実践) ブードル					ブロードライイングの技術を身に付ける。					
8	グルーミング実習(実践) マルチーズ										
9	グルーミング実習(実践) ピンシャー										
10	グルーミング実習(実践) 大型犬										
11	グルーミング実習(実践) バグ										
12	グルーミング実習(実践) シーズー										
13	グルーミング実習(実践) ブードル 部分カット					シザーやクリッパーを使用しカットを行う。					
14	グルーミング実習(実践) マルチーズ 部分カット					シザーやクリッパーを使用しカットを行う。					
15	グルーミング実習(実践) シュナウザー 部分カット					シザーやクリッパーを使用しカットを行う。					
16	グルーミング実習(実践) ブードル 部分カット					シザーやクリッパーを使用しカットを行う。					
17	グルーミング実習(実践) マルチーズ 部分カット					シザーやクリッパーを使用しカットを行う。					
18	グルーミング実習(実践) シュナウザー 部分カット					シザーやクリッパーを使用しカットを行う。					
19	グルーミング実習(実践) ブードル 部分カット					シザーやクリッパーを使用しカットを行う。					
20	グルーミング実習(実践) マルチーズ 部分カット					シザーやクリッパーを使用しカットを行う。					
21	グルーミング実習(実践) シュナウザー 部分カット					シザーやクリッパーを使用しカットを行う。					
22	グルーミング実習(実践) ブードル 部分カット					シザーやクリッパーを使用しカットを行う。					
23	グルーミング実習(実践) マルチーズ 部分カット					シザーやクリッパーを使用しカットを行う。					
24	グルーミング実習(実践) シュナウザー 部分カット					シザーやクリッパーを使用しカットを行う。					
25	グルーミング実習(実践) ブードル 部分カット					シザーやクリッパーを使用しカットを行う。					
26	グルーミング実習(実践) マルチーズ 部分カット					シザーやクリッパーを使用しカットを行う。					
27	グルーミング実習(実践) シュナウザー 部分カット					シザーやクリッパーを使用しカットを行う。					
28	グルーミング実習(実践) 期末試験に向けた模擬テスト①					120分でシャンプーセットを行う。					
29	グルーミング実習(実践) 期末試験に向けた模擬テスト②					120分でシャンプーセットを行う。					
30	グルーミング実習(実践) 期末試験に向けた模擬テスト③					120分でシャンプーセットを行う。					
31	グルーミング実習(実践) 期末試験に向けた模擬テスト④					120分でシャンプーセットを行う。					
32	期末試験					120分でシャンプーセットを行う。					
評価方法・成績評価基準						履修上の注意					
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。											
実務経験教員の経歴		ペットショップでトリマーとして4年勤務、トリミングサロン経営4年									

科目名	グルーミング理論				
担当教員	稲田 巴美	実務授業の有無	○		
対象学科	ペット栄養・メディカルトリマー学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必須	単位数	1	時間数	16
授業概要、目的、授業の進め方	グルーミング実習を行う上でのグルーミングの目的、流れ、道具名、使用方法を学ぶ。 グルーミングを行う上での注意点を理解する。また、犬種についての知識も学ぶ。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	犬種への理解を深め、犬種ごとに必要なグルーミング方法を選択できるようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	インターズー ドッグ・グルーマーズ プロフェッショナル・ワークブック インターズー 最新犬種図鑑				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	グルーミングの目的、トリマーの心構えについて				
2	シャンプー剤の知識、グルーミングの流れ・注意点①				
3	グルーミングの流れ・注意点②、道具の使い方				
4	スタンダードの理解、体表の生理				
5	犬種について 1G、2G、3G	各グループの中の代表犬種について学ぶ			
6	犬種について 4G、5G、6G				
7	犬種について 7G、8G、9G、10G				
8	期末試験				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。					
実務経験教員の経歴	ペットショップでトリマーとして3年勤務				

科目名	トリミング理論				
担当教員	磯部 孝則		実務授業の有無	○	
対象学科	ペット栄養・メディカルトリマー学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必須	単位数	2	時間数	16
授業概要、目的、授業の進め方	各犬種ごとのペットカットのトリミングスタイルを学ぶ。 ペットカットには、決まりがないため、まずはスタンダードを理解する。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	各犬種ごとのトリミングスタイルを理解し、グルーミング実習にて実践が出来るようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	インターズー ドッグ・グルーマーズ プロフェッショナル・ワークブック				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	トリミングの目的、ペットカットとショークリップの違い				
2	トリミング方法と道具について、アウトラインカットについて				
3	ポメラニアンの子カット、プードルのラムクリップ				
4	プードルのベアカットについて、マルチーズのペットカット				
5	シーズーのペットカット、ヨークシャーテリアのペットカット				
6	シュナウザーのペットカット ウエスト・ハイランド・ホワイト・テリアのペットカット				
7	アメリカン・コッカーのペットカット、イングリッシュ・コッカーのペットカット、スコティッシュ・テリアのペットカット				
8	期末試験				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。					
実務経験教員の経歴	ペットショップでトリマーとして4年勤務、トリミングサロン経営4年				

科目名	造形美術				
担当教員	稲田 巴美		実務授業の有無	○	
対象学科	ペット栄養・メディカルトリマー学科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必須	単位数	1	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	<p>ドッグマネキンをカットすることで、実際のトリミングのイメージをつかむ。また、道具の扱い方の練習を行う。</p> <p>立体のスタイルを作り上げる際に必要な観察力、想像力、形体を構成する力を学ぶ。</p> <p>対面授業で実施。</p>				
学習目標 (到達目標)	トリミングに必要な技術と観察力を身に付け、個体それぞれのトリミングが出来るようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ペットライフ社 トリマーのためのベーシックハンドブック				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ラムクリップについて		トリミングの基本要素が集約されたもの。		
2	面と角について、シザーについて		面と角を理解する。シザーの正しい持ち方、動かし方を修得する。		
3	シザー動かし方練習 後肢フットライン		カットの時は、常に全体のバランスをしっかりとみて行う。		
4	前肢フットライン				
5	お尻周辺のカット				
6	お尻～アンギュレーション～飛節～飛節下のカット①				
7	後肢のカット、角取り				
8	お尻サイド、タックアップの位置決め				
9	ボディサイドカット、アンダーカット、角取り				
10	前肢カット、角取り				
11	フロント①				
12	背線カット				
13	顔のカット①				
14	全体のバランスを見て仕上げ①				
15	全体のバランスを見て仕上げ②				
16	完成品 評価				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。					
実務経験教員の経歴	ペットショップでトリマーとして3年勤務				

科目名	異文化研究（海外研修）				
担当教員	齋藤 瑞姫		実務授業の有無	×	
対象学科	ペット栄養・メディカルトリマー学科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	16
授業概要、目的、授業の進め方	<p>異国の文化（言語、気候、風習、歴史など）を研究することで日本との違いなどを考察する。 また、実際に海外に行き異国の文化に触れることで理解を目指す。 対面授業で実施。</p>				
学習目標 (到達目標)	異国の文化について理解を深めることができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	無し				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	飛行機にて移動		パスポートの申請、飛行機の搭乗を経験する		
2	現地到着、研修1日目		現地での食事、お金の支払いなどを体験する		
3	研修2日目		現地での簡単な会話を行いながら文化に触れる		
4	研修3日目		現地で様々な体験を通して文化に触れる		
5	研修4日目、日本へ帰国				
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。					
実務経験教員の経歴					

科目名	公衆衛生学				
担当教員	東海林 愛美		実務授業の有無	○	
対象学科	ペット栄養・メディカルトリマー学科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	各種微生物の基礎知識の習得、及び消毒・滅菌について理解をし、感染症についての知識を身につける 対面授業で実施				
学習目標 (到達目標)	各種微生物の基礎知識の習得、及び消毒・滅菌について理解をし、感染症についての知識を身につける。また、ワクチンについて飼主主に説明できる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ビジュアルで学ぶ動物看護学				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	公衆衛生学を学ぶ意義 感染とは		テキスト、資料の使用		
2	微生物 微生物とは、原虫		テキスト、資料の使用		
3	微生物 真菌、細菌、ウイルス、プリオン		テキスト、資料の使用		
4	洗浄、消毒と滅菌（洗浄・消毒・滅菌の違いとその特徴）		テキスト、資料、消毒薬見本の使用		
5	洗浄、消毒と滅菌（消毒・滅菌の方法と使い分け）		テキスト、資料、消毒薬見本の使用		
6	免疫学 免疫機構、抗原と抗体、免疫性疾患、アレルギー		テキスト、資料の使用		
7	免疫学（ワクチンの種類/ワクチンで予防できる感染症/ワクチン接種プログラムと副反応）		テキスト、資料の使用		
8	感染症 ウイルス①（犬の病気）		テキスト、資料の使用		
9	感染症 ウイルス②（猫の病気）		テキスト、資料の使用		
10	感染症 細菌、真菌、寄生虫①（外部寄生虫）		テキスト、資料の使用		
11	感染症 寄生虫②（内部寄生虫）		テキスト、資料の使用		
12	感染症 寄生虫③（内部寄生虫）		テキスト、資料の使用		
13	人獣共通感染症①		テキスト、資料の使用		
14	人獣共通感染症②		テキスト、資料の使用		
15	期末試験				
16	公衆衛生学まとめ				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			小テストを実施しながら理解度を確認する		
実務経験教員の経歴	動物病院で動物看護師として13年勤務				

科目名	動物看護実践				
担当教員	飯野 美由紀		実務授業の有無	○	
対象学科	ペット栄養・メディカルトリマー学科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	16
授業概要、目的、授業の進め方	1年生で履修している動物看護実践Ⅰから引き続き、より実践的に検査実習なども盛り込み、看護技術のレベルアップを図る。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> ●動物病院で行っている基本的な検査について、目的や方法を理解し、手技を習得できる ●手術関連業務について、準備や術前術後の看護、麻酔管理を理解し、把握することができる 				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	インターズー 動物看護実習テキスト				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	授業概要、獣医師・動物看護師・動物診療助手診療範囲		動物看護実習テキスト、パワーポイント資料		
2	動物の保定、駆血		動物看護実習テキスト、パワーポイント資料		
3	身体検査とバイタルチェック		動物看護実習テキスト、パワーポイント資料		
4	消毒・滅菌		動物看護実習テキスト、パワーポイント資料		
5	シリンジの扱い方、投薬方法、カルテ用語		動物看護実習テキスト、パワーポイント資料		
6	内用薬、外用薬、投薬方法、エリザベスカラー		動物看護実習テキスト、パワーポイント資料		
7	検体処理（尿、便、血液）		動物看護実習テキスト、パワーポイント資料		
8	尿検査（一般、沈査）		動物看護実習テキスト、パワーポイント資料		
9	糞便検査（直接法、浮遊法、検査キット）		動物看護実習テキスト、パワーポイント資料		
10	血液検査（CBC、生化学、検査キット、塗抹作成）		動物看護実習テキスト、パワーポイント資料		
11	レントゲン検査（ポジショニング、防護服）		動物看護実習テキスト、パワーポイント資料		
12	手術準備（手術器具、リネン）		動物看護実習テキスト、パワーポイント資料		
13	受付業務		動物看護実習テキスト、パワーポイント資料		
14	マイクロチップ		動物看護実習テキスト、パワーポイント資料		
15	期末試験				
16	期末試験の振り返り				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			1年次履修の動物看護実践Ⅰで行っていることを考慮して、より実践的な検査・看護技術を身に付ける。動物病院への就職を希望する学生も多いため、動物看護師が病院で日常的に行う手技を身に付ける。		
実務経験教員の経歴	動物病院で動物看護師として16年勤務				

科目名	動物の病気				
担当教員	稲川 祥子		実務授業の有無	○	
対象学科	ペット栄養・メディカルトリマー学科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	犬と猫の病気全般の機序、症状、検査あるいは治療等について理解する。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	犬と猫の病気全般の機序、症状、検査あるいは治療等について理解する				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	緑書房 ビジュアルで学ぶ動物看護学				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	フィラリア感染症		テキスト使用、その他資料配布、フィラリア模型		
2	先天性心疾患、後天性心疾患 血管の疾患		テキスト使用、その他資料配布		
3	関節疾患、骨折		テキスト使用、その他資料配布、DVD観賞		
4	気管・気管支疾患、肺疾患、 呼吸異常		テキスト使用、その他資料配布		
5	口腔疾患 胃腸疾患		テキスト使用、その他資料配布		
6	肝臓・膵臓疾患		テキスト使用、その他資料配布		
7	中間試験 腎臓疾患		テキスト使用、その他資料配布、前半までのまとめテスト		
8	膀胱炎 尿石症		テキスト使用、その他資料配布		
9	甲状腺、副腎		テキスト使用、その他資料配布		
10	糖尿病		テキスト使用、その他資料配布		
11	脳 脊髄		テキスト使用、その他資料配布、DVD観賞		
12	耳の疾患 眼の疾患		テキスト使用、その他資料配布		
13	子宮、卵巣、異常分娩 精巣、前立腺		テキスト使用、その他資料配布		
14	皮疹 皮膚炎		テキスト使用、その他資料配布		
15	腫瘍（乳腺、皮膚）		テキスト使用、その他資料配布		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			解剖生理の復習、中間試験を実施し、理解度の確認をしながら進める。		
実務経験教員の経歴	動物病院で動物看護師として5年勤務				

科目名	動物診療助手対策授業				
担当教員	飯野 美由紀		実務授業の有無	○	
対象学科	ペット栄養・メディカルトリマー学科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	動物病院で動物診療助手兼トリマーとしても活躍できる人材を目指すために必要な知識を習得する。				
学習目標 (到達目標)	動物診療助手試験合格のために必要な知識を理解する。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	使用テキスト : ビジュアルで学ぶ動物看護学、動物看護の教科書				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	保定、投薬法、創傷管理		動物看護実習テキスト、パワーポイント資料		
2	顕微鏡の使い方、血液検査(塗抹標本作成、鏡検)		動物看護実習テキスト、パワーポイント資料		
3	血液検査(CBC、生化学、検査キット、ヘマトクリット)		動物看護実習テキスト、パワーポイント資料		
4	尿検査(生化学検査、尿沈渣、鏡検)		動物看護実習テキスト、パワーポイント資料		
5	便検査(直接法、浮遊法、鏡検)		動物看護実習テキスト、パワーポイント資料		
6	耳検査、眼科検査、皮膚検査		動物看護実習テキスト、パワーポイント資料		
7	レントゲン検査(ポジショニング、防護衣、フィルム管理)		動物看護実習テキスト、パワーポイント資料		
8	超音波検査(CT、MRI)		動物看護実習テキスト、パワーポイント資料		
9	心電図検査(取り扱い、操作、記録紙の見方)		動物看護実習テキスト、パワーポイント資料		
10	手術関連業務(基本の手術器具、縫合糸の種類と目的)		動物看護実習テキスト、パワーポイント資料		
11	手術関連業務(特殊な手術器具、リネン)		動物看護実習テキスト、パワーポイント資料		
12	術前の準備(剃毛、消毒、)		動物看護実習テキスト、パワーポイント資料		
13	術後の準備(麻酔管理、術後のケア)		動物看護実習テキスト、パワーポイント資料		
14	麻酔モニタリング(麻酔管理、麻酔薬)		動物看護実習テキスト、パワーポイント資料		
15	対策問題		問題プリント、教科書		
16	対策問題		問題プリント、教科書		
17	対策問題		問題プリント、教科書		
18	対策問題		問題プリント、教科書		
19	対策問題		問題プリント、教科書		
20	対策問題		問題プリント、教科書		
21	対策問題		問題プリント、教科書		
22	対策問題		問題プリント、教科書		
23	期末試験				
24	期末試験の振り返り				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。		小テストを実施して、試験対策とする。			
実務経験教員の経歴	動物病院で動物看護師として16年勤務				

科目名						グルーミング実習Ⅱ					
担当教員		山田 佳枝、ワンダフル、MAGIC BOX		実務授業の有無		×					
対象学科		ペット栄養・メディカルトリマー学科		対象学年		2		開講時期		通年	
必修・選択		必須		単位数		12		時間数		384	
授業概要、目的、授業の進め方		グルーミング技術の習得。犬種ごとに安全なグルーミングが出来るようにする。グルーミングにより犬の生理や健康管理、衛生管理を行う。 1人1頭の犬をグルーミングを行う。 対面授業で実施。									
学習目標 (到達目標)		100分の中で、カット犬種のペットクリップが出来るようになる。									
テキスト・教材・参考図書・その他資料											
回数	授業項目、内容					学習方法・準備学習・備考					
1	グルーミング実習(実践) シーズー					100分で、犬種に応じたペットクリップを行う。					
2	グルーミング実習(実践) ブードル					100分で、犬種に応じたペットクリップを行う。					
3	グルーミング実習(実践) マルチーズ					100分で、犬種に応じたペットクリップを行う。					
4	グルーミング実習(実践) シュнауザー					100分で、犬種に応じたペットクリップを行う。					
5	グルーミング実習(実践) ブードル					100分で、犬種に応じたペットクリップを行う。					
6	グルーミング実習(実践) マルチーズ					100分で、犬種に応じたペットクリップを行う。					
7	グルーミング実習(実践) シュнауザー					100分で、犬種に応じたペットクリップを行う。					
8	グルーミング実習(実践) ブードル					100分で、犬種に応じたペットクリップを行う。					
9	グルーミング実習(実践) マルチーズ					100分で、犬種に応じたペットクリップを行う。					
10	グルーミング実習(実践) シュнауザー					100分で、犬種に応じたペットクリップを行う。					
11	グルーミング実習(実践) シーズー					100分で、犬種に応じたペットクリップを行う。					
12	グルーミング実習(実践) ブードル					100分で、犬種に応じたペットクリップを行う。					
13	グルーミング実習(実践) マルチーズ					100分で、犬種に応じたペットクリップを行う。					
14	グルーミング実習(実践) シュнауザー					100分で、犬種に応じたペットクリップを行う。					
15	グルーミング実習(実践) ブードル					100分で、犬種に応じたペットクリップを行う。					
16	グルーミング実習(実践) マルチーズ					100分で、犬種に応じたペットクリップを行う。					
17	グルーミング実習(実践) シュнауザー					100分で、犬種に応じたペットクリップを行う。					
18	グルーミング実習(実践) ブードル					100分で、犬種に応じたペットクリップを行う。					
19	グルーミング実習(実践) マルチーズ					100分で、犬種に応じたペットクリップを行う。					
20	グルーミング実習(実践) シュнауザー					100分で、犬種に応じたペットクリップを行う。					
21	グルーミング実習(実践) シュнауザー					100分で、犬種に応じたペットクリップを行う。					
22	グルーミング実習(実践) ブードル					100分で、犬種に応じたペットクリップを行う。					
23	グルーミング実習(実践) マルチーズ					100分で、犬種に応じたペットクリップを行う。					
24	グルーミング実習(実践) シュнауザー					100分で、犬種に応じたペットクリップを行う。					
25	グルーミング実習(実践) ブードル					100分で、犬種に応じたペットクリップを行う。					
26	グルーミング実習(実践) マルチーズ					100分で、犬種に応じたペットクリップを行う。					
27	グルーミング実習(実践) シュнауザー					100分で、犬種に応じたペットクリップを行う。					
28	グルーミング実習(実践) 期末試験に向けた模擬テスト①					100分で、犬種に応じたペットクリップを行う。					
29	グルーミング実習(実践) 期末試験に向けた模擬テスト②					100分で、犬種に応じたペットクリップを行う。					
30	グルーミング実習(実践) 期末試験に向けた模擬テスト③					100分で、犬種に応じたペットクリップを行う。					
31	グルーミング実習(実践) 期末試験に向けた模擬テスト④					100分で、犬種に応じたペットクリップを行う。					
32	期末試験					100分で、犬種に応じたペットクリップを行う。					
評価方法・成績評価基準						履修上の注意					
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。											
実務経験教員の経歴		企業へ委託									

栄養管理実践					
科目名	栄養管理実践				
担当教員	稲川 祥子		実務授業の有無	○	
対象学科	ペット栄養・メディカルトリマー学科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	104
授業概要、目的、授業の進め方	動物の一般状態から栄養状態を見極め、問題点を探り改善提案をしてQOL向上を目指す。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	問題点を明確にし、またQOL向上のための創意工夫をし、予防と治療の観点から動物の栄養管理、栄養指導を行うことができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	(株) インターズー 基本からよくわかる犬と猫の栄養管理 実教出版 オールガイド食品成分表2021、その他配布資料				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	栄養管理の意義 犬における栄養状態の評価の実践(BW、BCS、BFI)		2年次の動物栄養学II復習、ノート持参、実習着、電卓、テキスト		
2	猫における栄養状態の評価の実践(BW、BCS、BFI)		実習着、電卓、テキスト、GM道具		
3	ダイエットプログラム実践①(聴取、評価、計画、指導)		実習着、電卓、テキスト、GM道具		
4	犬用ごはんのレシピ考案		テキスト、電卓、レシピ本、調理実習計画書		
5	犬用手作りごはんのエネルギー計算		テキスト、電卓、レシピ本、調理実習計画書		
6	調理実習① ClubWaNへおやつ給与指導ロールプレイング		エプロン、三角巾、ハンカチ、調理実習計画書		
7	ダイエットプログラム実践②(聴取、評価、計画、指導)		実習着、電卓、テキスト、GM道具		
8	特別療法食の種類と特徴①		フードメーカーによる講義		
9	幼齢期、高齢期の食事介助		実習着、テキスト		
10	ダイエットプログラム実践③(聴取、評価、計画、指導)		実習着、電卓、テキスト、GM道具		
11	犬用ごはんのレシピ考案		テキスト、電卓、レシピ本、調理実習計画書		
12	犬用手作りごはんのエネルギー計算		テキスト、電卓、レシピ本、調理実習計画書		
13	POP制作		のり、テープ、シール、折り紙等		
14	調理実習② ClubWaNへおやつ給与指導のロールプレイング		エプロン、三角巾、ハンカチ、調理実習計画書		
15	ダイエットプログラム実践④(振り返り、まとめ)				
16	期末試験		レポート課題		
17	皮膚疾患に対応したペットフードの選び方①				
18	皮膚疾患に対応したペットフードの選び方②				
19	特別療法食の種類と特徴③		フードメーカーによる講義		
20	皮膚疾患に対応した薬用シャンプーと食事管理①		薬用シャンプー、皮膚一覧表		
21	皮膚疾患に対応した薬用シャンプーと食事管理②		ぬいぐるみ		
22	特別療法食の種類と特徴④		フードメーカーによる講義		
23	栄養指導のロールプレイング		テキスト、電卓、ペットフード		
24	ペットフードの特長の見分け方				
25	特別療法食の種類と特徴④		フードメーカーによる講義		
26	栄養指導のロールプレイング		テキスト、電卓、ペットフード		
27	犬用ごはんのレシピ考案		テキスト、電卓、レシピ本、調理実習計画書		
28	犬用手作りごはんのエネルギー計算		テキスト、電卓、レシピ本、調理実習計画書		
29	POP制作		のり、テープ、シール、折り紙等		
30	調理実習		エプロン、三角巾、ハンカチ、調理実習計画書		
31	期末試験		レポート課題		
32	振り返り				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。			カロリー計算ができない場合は1年次で履修した内容を復習しておく。また、調理実習を行うことからケガや事故にも注意し、意欲的に実習できるよう学生のやりたいことを尊重させる。ただし、目的がしっかりしていない場合にははっきりさせる。		
実務経験教員の経歴	動物病院で動物看護師として5年勤務				

科目名						ペットフード概論					
担当教員		稲川 祥子			実務授業の有無		○				
対象学科		ペット栄養・メディカルトリマー学科		対象学年		3		開講時期		通年	
必修・選択		必修		単位数		5		時間数		80	
授業概要、目的、授業の進め方		基礎栄養学、臨床栄養学に加え、中医学に基づき薬膳や手作り食、体質別食事管理やアドバイスができる人材を目指す。									
学習目標 (到達目標)		ペットフードの合格を目指す									
テキスト・教材・参考図書・その他資料		ペットフード養成講座指定テキスト									
回数	授業項目、内容					学習方法・準備学習・備考					
1	中医学的体質分類					配布資料					
2	体質別食材選び					愛犬、WaNファミリーの体質チェック					
3	ホリスティックとは					協会指定ドリル					
4	薬膳①					協会指定ドリル					
5	薬膳②					協会指定ドリル					
6	病気と食事総論					協会指定ドリル					
7	介護期の食事①					協会指定ドリル					
8	介護期の食事②					協会指定ドリル					
9	犬と猫の食事①					協会指定ドリル					
10	犬と猫の食事②					協会指定ドリル					
11	猫の手作り食					協会指定ドリル					
12	消化吸収の仕組みと健康①					協会指定ドリル					
13	消化吸収の仕組みと健康②					協会指定ドリル					
14	犬と猫の基礎栄養学①					協会指定ドリル					
15	犬と猫の基礎栄養学②					協会指定ドリル					
16	ペットフード①					協会指定ドリル					
17	ペットフード②					協会指定ドリル					
18	犬の手作り食①					協会指定ドリル					
19	犬の手作り食②					協会指定ドリル					
20	食事関連の主なトラブル①					協会指定ドリル					
21	食事関連の主なトラブル②					協会指定ドリル					
22	犬や猫の食事選びの接客①					協会指定ドリル					
23	犬や猫の食事選びの接客②					協会指定ドリル					
24	価値の伝え方①					協会指定ドリル					
25	価値の伝え方② サプリメント					協会指定ドリル					
26	病気と食事管理①					協会指定ドリル					
27	病気と食事管理②					協会指定ドリル					
28	対策テスト					対策プリント					
29	対策テスト					対策プリント					
30	認定試験受験										
31	期末試験										
32	振り返り										
評価方法・成績評価基準						履修上の注意					
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(60点未満)とする。						章ごとに小テストを実施し、理解度を確認する。 弱点克服では、各自の苦手分野を重点的に解答を進める。					
実務経験教員の経歴		動物病院で動物看護師として5年勤務									